

教材開発部会

1 研究のテーマ

思考力・判断力・表現力の向上を図るために、子どもが必然性をもって取り組む教材の開発
・子どもたちの「学びに向かう力」を高められる課題設定の工夫
・日常生活と教室での学びをつなげていく授業の実践

2 研究の取組

(1) 教材開発のポイントの協議

全国学力・学習状況調査のB問題の分析や研究員のこれまでの授業実践をもとに、目指す方向性や教材開発のポイントを研究員で共有した。

(2) ☆小学校2年 算数「長さ」の授業づくり・実践

① 教材開発部会の研究をもとにした、本単元における重点項目の確認
ア 日常生活に生かすことができ、学びの必然性を感じる活動を位置付けた単元計画を作成する。

イ 量感を育てる効果的な体験活動を位置付ける。

ウ 児童の実態把握を十分に行う。

② 授業実践（6時間単元）

第4時「コートの長さを求めよう」

（長さの加法）を研究員で参観した。

(3) ☆中学校1年生 理科「光による現象」の授業づくり・実践

① 日常生活の中での疑問につながる導入の工夫と、それをもとにした単元計画の作成

② 授業実践（10時間単元）

第7時「凸レンズの仕組みを説明してみよう」を研究員で参観した。

3 成果(○)と課題(△)

○ 学びの必然性を考えた課題設定を工夫したことで、学ぶ楽しさを感じる児童生徒が多く見られた。また、学びの必然性が伴うと、必要な知識・技能が習得しやすい。

○ 自分自身や自分の生活に関するものを教材とすることで、思考力・判断力・表現力の向上につながりやすいことが分かった。

○ 部員の授業実践の様子を、デジタルポートフォリオにて共有し、意見の交換・交流ができ、今までにない研究の進め方が実践できた。部員全員で校種、教科を超えた教材開発を行うことで、教材を多面的・多角的に分析することができた。

△ 子どもたちが学ぶ必然性を感じるためのしかけを作成するには、多大な時間を要する。また教科の特性や単元によっては、日常生活とのつながりを見いだすことが難しい。



この他に開発・実践した教材はこちら

- ☆ かぞえられる？あさがおのたね（小1 算数）
- ☆ たんぼぼのちえ（小2 国語）
- ☆ かんさつ名人になろう（小2 国語）
- ☆ かけ算（小2 算数）
- ☆ 1年生をむかえよう（小2 生活）
- ☆ しりょうからわかる 小学生のこと（小3 国語）
- ☆ 詩をかこう（小4 国語）
- ☆ がい数を使った計算（小4 算数）
- ☆ 柿の種のオリジナル黄金比を見つけよう（小6 算数）
- ☆ 比例と反比例・ランドルト環（中1 数学）
- ☆ 関数・振り子を使って（中3 数学）
- ☆ ワインを蒸留してみよう（中1 理科）
- ☆ 味噌汁を蒸留してみよう（中1 理科）
- ☆ 空気中ではたらく力を考えよう（中1 理科）
- ☆ 日常生活にあふれている英語（中2 英語）